

～教員おすすりめ本～

No. 19

教職教育部
堀 緑



『百年の孤独』

ガブリエル・ガルシア=マルケス 著
鼓直 訳

【先生からのコメント】

1982年にノーベル文学賞を受賞したコロンビアの作家ガルシア=マルケスの代表作。マコンドという架空の土地を舞台に、ある一族の年代記が繰り広げられます。わたしも大学生のときにこの本に出会いましたが、あっという間に物語の世界に引き込まれ、読み終わるのがもったいなくて、あとこれだけしかない、と残りページを数えながら読みました。わたしに物語を読む醍醐味を味わわせてくれた、とっておきの一冊。ぜひ、あなたもどうぞ。



『妖女サイベルの呼び声』

パトリシア・A. マキリップ 著
佐藤高子 訳

【先生からのコメント】

伝説の獣たちを従え、エルド山でひとり静かに暮らす魔法使いの娘サイベル。ある夜彼女のもとに甲冑姿の男があらわれ、遠縁だという赤子を預けていく。それをきっかけに、サイベルは愛を知り、憎しみを知り、恐怖を知り、権力争いに巻きこまれ、大切なものを見失っていく……。ファンタジーならではの世界を堪能できる、大人向きの作品です。流麗な訳文にも注目。この作品が気に入ったら、コミック化された『コーリング』（岡野玲子著、パトリシア・A・マキリップ原作）と比較してみてもいいですね。あなたはどちらが好きですか。

2018年1月12日
近畿大学中央図書館